

第1章 ～はじめに～

1.1 経営戦略策定の趣旨

「経営戦略」は、各公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である。その中心となる「投資・財政計画」は、施設・設備に関する投資の見通しを試算した計画【投資試算】と、財源の見通しを試算した計画【財源試算】であり、投資以外の経費を含めたうえで、収入と支出が均衡するよう調整した収支計画である。

近年、水道事業を取り巻く環境は少子高齢化に伴う人口の減少や節水機器の機能向上等により水需要の減少による収入減、また水道施設の老朽化および施設耐震化に伴う更新・改良費の増加による支出増と収支の差が年々大きくなると考えられる。

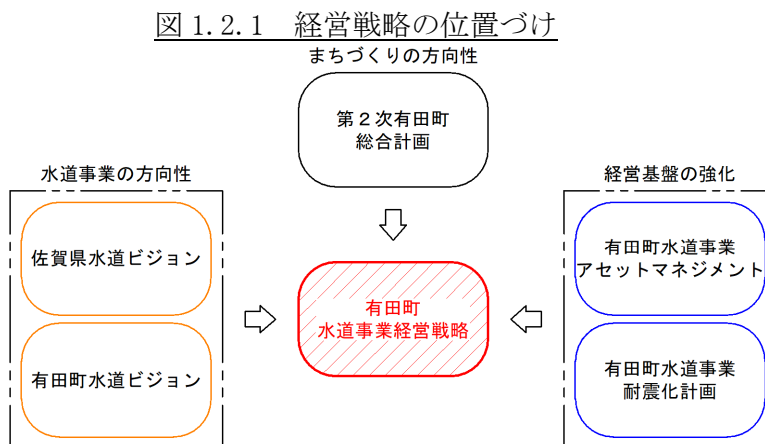
本町の水道事業においても、「第2次有田町総合計画」、「有田町人口ビジョン」、「水道施設耐震化計画」、「有田町水道事業アセットマネジメント」等を用いて将来の収支予測をおこなうとともに、一般会計・財政担当部局・地域政策担当部局など地方公共団体全体の関連部局と連携して策定する。

1.2 経営戦略の位置づけ

将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な基本計画であり、有田町水道事業の経営の基本的な考え方、投資試算や財源試算、収支ギャップの解消など経営健全化にむけた取組みである。

経営戦略は、有田町のまちづくりの方向性を示した「第2次有田町総合計画」や水道事業の方向性を示した「佐賀県水道ビジョン・有田町水道ビジョン」等との整合を図り策定する。

経営戦略の位置づけを、図1.2.1に示す。



1.3 経営戦略の計画期間

経営戦略の計画期間は、有田町水道ビジョンと合わせた2020年(令和2年度)～2029年(令和11年度)までの10年間とする。

なお、社会情勢の変化や国、県等の動向を踏まえ、3年～5年を目途に適宜計画を見直す。